2020年10月6日

農福連携サポーター　今後の予定

認定・特定非営利活動法人ＵＮＥ

代表理事　家　老　　洋

収穫の時季を迎えましたが、1ヶ月前の暑さを忘れてしまう位、秋らしくなりなりましたが如何お過ごしでしょうか？

既に講座の際に説明させていただいた内容で、農家での実習を開始されておられる方もおられるとの情報もいただいておりますが、連絡が大変遅くなりましたことお詫び申しあげます。

農家での実習も含め今後の予定が具体化しましたので皆さんにお知らせします。

今後恐縮ですが連絡はメール、電話、ＺＯＯＭにて行いたいと思いますのでご理解ご協力よろしくお願いいたします。

なお、メールの際は、取り敢えず　家老のメール：[hiroshikaro@yahoo.co.jpかUNE](mailto:hiroshikaro@yahoo.co.jpかUNE)のメールune\_aze@yahoo.co.jpへ、電話は家老の携帯電話：090-4596-1210までお願いします。

お手数をお掛けしますが何卒よろしくお願いいたします。

新聞, テキスト が含まれている画像

自動的に生成された説明

1. 現場実習

講座修了後、令和3年6月30日までに指定する農場や農家で通算10時間以上、現場実習をしてください。農場等の斡旋等の手伝いは行います。

現場実習終了後は、同封しました実習報告書により報告願います。報告書の内容等確認させて貰い農福連携サポーターとしての認定し、現場にて活躍して貰います。

実習報告書を取り敢えず3枚同封しました。データで記入されたい方は、UNEのホームページに掲載しましたので印刷してご利用下さい。

1. 農福連携サポーターの活動

　　　農福連携サポーターとして登録いただいた後に障がい者を受け入れている農家・農業経営体等で実際に活動して貰います。活動に際しては後日、別途定める活動要領により活動した場合に支援日当を支払います。

1. 先進地視察研修
2. 内　容
   * + はたらく・くらすを考え、共同受注・販売を行い、工賃アップを目指す協議会の取り組講義
     + 長野県内の農福連携関係者との意見交換
     + 長野県内の障がい者福祉サービス事業所等視察

②視察先：長野市内

* + - 特定非営利活動法人長野県セルプセンター協議会
    - 社福　花工房福祉会（ゆるくら、エコーンファミリー）　他
    1. 参加費：１５，０００円（宿泊費、食費４食、交通費、保険料）
    2. 日　程

11月17日（火）

　長岡駅東口JR駐車場前　8：10集合

　長岡北スマートインター　駐車場　8：20酒豪

　長岡：8：30出発（長岡北スマートインター駐車場）

　上越：10：00出発（出発地は参加者の状況を見て決定します。）

　長野：12：00到着

昼食後、長野セルプセンター協議会の取り組について講演

　夕方は、夕食を兼ねた長野農福連携者との意見交換会

　当日は篠ノ井市内のビジネスホテル（全てシングルルーム）に宿泊予定

11月18日（水）

　ホテル出発：8：30

　午前　社福　花工房福祉会　炭房ゆるくら、エコーンファミリ視察見学

〇多機能型（生活介護、就労移行、Ｂ型）事業所エコーンファミリー（川中島事業所）

　　　　季節ごとに異なる花と野菜の栽培、パン・スイーツ、豆腐の製造販売等

〇炭房　ゆるくら（Ｂ型）（篠ノ井布施髙田）

　　　　　自家製の炭、薪、炭商品（木炭、園芸炭、竹炭まくら、石けん、竹酢液など）を販売

　昼食後、関係施設を見学後帰途へ

　上越：16：00到着（予定）

　長岡：17：30到着（予定）

　※訪問先の状況、天候、交通状況により時間が前後される場合がありますので、予め了解願います。

⑤訪問先概要

◆特定非営利活動法人長野県セルプセンター協議会

　　　障がいのある人達が働く事業所のことをセルプ(社会就労センター)といいます｡ここでは一人

ひとりの個性に合わせて社会自立の訓練や､経済的自立を支援するために生産･販売活動を行っています｡  
「セルプ｣とはSelf-Help「自助自立｣の造語です｡障がいのある人達が､自分にあった働き方で社会に貢献し､自立した生活を自らの手で獲得することを目指しています｡

また､SELPのSはSupport(支援)、EはEmployment(就労)、LはLiving(生活)、

PはParticipation(社会参加)も意味しています｡ 障がいなどの理由により雇用される事の困難な何らかのハンディキャップを有する人が､リハビリや職業訓練を兼ねて働き､社会参加を実現している社会福祉事業所です｡

長野県セルプセンター協議会には、県内の福祉工場、障がい福祉サービス事業所、共同作業所など160余事業所が加入しています。全県的にセルプ商品をＰＲして、販売促進や研修事業を行うとともに、各地区ごとのセルプセンターのネットワーキングをすすめています。

◆社福　花工房福祉会

「 ともに生き、ともに暮らす 」を合い言葉として、障害者も地域の中であたりまえの生活を営むとを応援し、よりよいサービスを提供する法人として歩んでいきます。

♡いきるしあわせ

エコーンファミリーは、その人らしい生き方の実現を目指します

エコーンファミリーは、皆の心身の健康と生活の安定を目指します

エコーンファミリーは、皆の幸せを目指します

♡はたらくよろこび

エコーンファミリーは、その人らしく「働く」ことを支援します

エコーンファミリーは、働く喜びをともに分かち合い、苦労を皆で乗り越えます

エコーンファミリーは、一人ひとりにあった工賃の提供を目指します

♡ちいきといっしょに

エコーンファミリーは、その活動を通じて地域に貢献します

エコーンファミリーは、地域の皆さんとより良い関係を築きます

⑥募集定員　１５名（定員になり次第締め切ります）

⑦申込み　１０月２７日（火）までに、ＵＮＥまで氏名、電話番号を添えて申込みしてください。

申込み後別途詳細を連絡します。

1. フォーラム
   1. 日　時：2月9日（火）10：00～17：00
   2. 会　場：長岡市アオーレながおか　西棟3階　Ｂ・Ｃホール
   3. 内　容：

* （仮称）えちご農福連携普及協議会の立ち上げ
* 先進事例の発表
* 全国並びに新潟県内の先進事例の発表を予定しています。
* 現場実習・支援事業報告

　　　　受講された皆さんの報告をお願いします。

* 農福連携運動の課題とこれからについてワークショップ

※なお、福連携　障がい者就農促進協議会（三重県）前川　良文さんからも出席いただく予定です。

以上